

第21回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

試合結果・戦評報告書

競技日	8月 7日 (日)	試合番号	C-ス	回戦	準決勝
種別	女子	会場	西条市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
香川銀行 T・H			大阪ラヴィッツ		
得点合計	小計		小計	得点合計	
26	9	前半	12	22	
	17	後半	10		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

準決勝、香川銀行と大阪ラヴィッツの注目の一戦は大阪ラヴィッツのスローオフで幕を開けた。大阪ラヴィッツは⑥中久保のポストシュート、⑨古川のカットインシュートで2点を連取する。対する香川銀行はクイックスタートや速攻などの速いテンポで応戦する。両チームともGKを中心に堅いディフェンスで主導権を渡さない。大阪ラヴィッツは中盤、メンバーを入れ替え、そこから少しずつ流れを呼び込み、7対4とリードする。15分香川銀行は堪らずTOを請求する。そこから2連取し、悪い流れを断ち切れたかに思えたが、退場者を出し、3連続失点をする。22分11対6と大阪ラヴィッツが大きくリードをする。しかし、香川銀行がディフェンスシステムを3-2-1に変更し粘りを見せ、3点差まで縮めて前半を12対9で大阪ラヴィッツがリードで終えた。

後半は香川銀行が2連取するも、大阪ラヴィッツは⑥田中のスカイプレー、⑨古川の7mTなどで得点を重ね、18対13とする。しかしその後、大阪ラヴィッツは2回の退場者が出る。香川銀行はこの好機を生かし、20分に④石川のサイドシュートでついに同点に追いつく。ここで香川銀行の応援団のボルテージが上がり、応援を背にした香川銀行の⑤和田がリバウンドを捕りシュートを決め、逆転をする。その後も大阪ラヴィッツは退場者を2回出し、香川銀行の攻撃を止めることができず、26対22で香川銀行が勝利した。香川銀行は10連覇まであと1勝となった。香川銀行を苦しめた大阪ラヴィッツにも健闘を称えたい。

(JOT愛媛大会 女子準決勝 香川銀行T・H — 大阪ラヴィッツ)



記載者氏名	月原 一成
送信日時	月 日 () :
送信者サイン	